



◆ まえがき

皆様、はじめまして。

国際ウエディングプランナーの渡辺美枝と申します。「なぜ国際？」と思われるかもしれませんがね（笑）。29歳のときに渡米し、日系ウエディング会社でインターンとして働きはじめたことがきっかけで、ウエディングの世界にハマり、その後、同じ会社で海外経験を9年、国内経験を6年経たのちに独立したことから、「世界中のカップル様の幸せのお手伝いができるプランナーになる」と決意し、国際ウエディングプランナーと勝手に名付けました。

私の15年にわたるプランナー人生は、まるでジプシーのように、ラスベガス↓ Guam↓札幌↓京都↓シンガポールと国や地域を同じグループ会社内で転々としてきました。最後の赴任先であるシンガポールで、「シンガポール人カップルのプランニングを行う」という経験を最後に独立し、現在は海外カップルや国際カップ

ルのプランニングを主に行い「日本と世界の架け橋になる」という長年の夢を叶えているところです！

ウエディングプランニングのどこにハマったのでしょうか？ 準備期間中のカップル様とのやりとりと、無事に当日を迎えられたときの達成感と感動にハマったのだと思います。ウエディングプランナーの仕事はとても地味で、時にはものすごく神経を使う仕事だと思います。でも、結婚式当日が無事にお開きになったときの安堵感と達成感、そして新郎新婦の笑顔は何物にも変えられない感動があります。私にとってウエディングプランナーという職業は、きつと天職なのだと思います。

ところで、私は「イレギュラー」という言葉があまり好きではありません。レギュラーとイレギュラーの間に一本の線が引かれているように思えるからです。

「ウエディング」とひとくくりにされる結婚式や披露宴に、特別なルールはないと私は思っています。もちろん伝統そのものは「変わらないことの美しさ」とし

て尊重すべきだと思えますが、そういった伝統を取り入れてアレンジすることは可能だと思っています。昔に比べると、今はウェディングのスタイルもかなり多様化してきました。でも、まだまだ「ウェディングとはこうあるべきもの」という目に見えないルールに囚われているカップルは少なからずいらっしゃると思います。そういった囚われた心を解き放ち、あなたらしいスタイルを作り出していくことの大切さを、さまざまな国籍のカップルのプランニング経験を通してお伝えたく、本著を書くことにいたしました。

そして、ご縁の素晴らしさや、「誓い合うことの大切さ」をお伝えしたいと思っております。結婚式の体裁を異常に気にする必要はなく、規模も予算も、あなたの心地のいい範囲で行えばいい、ご縁あって結ばれた二人が、これからの人生を「声に出して誓い合う」ことこそが、結婚式の中で最も大切であるということを知っていただければ、入籍だけで済みますカップルも少なくなり、記念に写真だけ撮るといったカップルも少なくなるのでは……と淡い期待をしております。

屋号の「Beyond」は、「Beyond」ありとあらゆる枠を超えた先にある幸せを感じることに「BE」私らしく、そしてあなたらしくいること」の大切さを伝えたくて名付けました。

「体裁、遠慮、しがらみ」と言ったものに怖じ気付くことなく、むしろ、その枠を超えて、「私にとっての心地いいスタイル」を選びとっていたかどうかはウェディングだけに関わらず、人生そのものにも言えることだと思っております。

本書では、結婚している方や、していない方、結婚を控えている方など、さまざまな方々に、結婚式スタイルの選び方や紹介、プランナー目線の結婚観、そして私が思う人生観について、赤裸々にお伝えできればと思っております。

今世の人生は一度きりです。もっと軽やかな気持ちで結婚も人生も楽しんでみませんか？